

在学中の試験と柔道整復師国家試験の成績比較

岩瀬 泰介¹⁾, 玉井 清志¹⁾, 荒木 誠一¹⁾, 樽本 修和¹⁾, 安田 秀喜¹⁾ (¹⁾ 帝京平成大学)

key words : education, national examination, national exam preparation

【目的】

柔道整復師国家試験（以下、国家試験）の合格率は学校教育の評価基準のひとつとなっており、学校教育に携わる者は、合格率を高めることに無関心ではられない。また、学生のキャリアの観点からも、入学からストレートで国家試験に合格させることは重要なことである。そのため、帝京平成大学では、国家試験と同様の形式の試験を第4学年の単位認定試験（以下、学内試験）に導入している。しかし、学内試験の問題作成は教員が作成しており、客観的に評価として用いて適当なのかは定かではない。そこで、全国的試験であり客観性が高いと思われる国家試験の得点を比較対象として在学中の試験を評価したので報告する。

【方法】

対象は、平成28年3月に国家試験を受験した者のうち成績情報がすべて揃っている50名を対象とした。

対象試験は、8月実施の第1回学内試験、12月実施の第2回学内試験、1月実施の第3回学内試験、2月実施の予備校の国家試験模擬試験（以下、業者模試）、3月実施の第24回国家試験の成績を検証対象とした。

また、単位認定の判断には、第1から第3回の学内試験の結果を総合した成績（以下、総合成績）で評価している。その配分は、第1回学内試験が2割、第2回学内試験が3割、第3回学内試験が5割である。総合成績も国家試験の成績と比較検証した。検証にはピアソンの相関係数を用いた。

なお、学内試験は帝京平成大学の教員が柔道整復師国家試験出題基準に準じて作成している。また、各試験の成績に関する報告を行うことについては、個人情報保護を条件に、平成29年6月に帝京平成大学の倫理委員会の承諾を得ている。

【結果】

50名の国家試験と各成績の相関関係を表1に示した。結果は、いずれの間にも有意に高い相関関係が認められた。国家試験と最も高い相関が認められたのは業者模試（ $r=0.89$ ）で、次いで総合成績（ $r=0.88$ ）であった。第3回学内試験（ $r=0.84$ ）と第2回学内試験（ $r=0.84$ ）は同等の相関関係を示した。第1回学内試験（ $r=0.79$ ）は最も低かったが、有意に高い相関関係が認められた。

（表1）

	第1回 学内試験	第2回 学内試験	第3回 学内試験	業者模試
国家試験	0.79	0.84	0.84	0.89
p	0.00	0.00	0.00	0.00

（上端：相関係数、下段：probabiltiy）

【考察】

結果から、試験実施時期が国家試験に近づくにつれて、相関係数が高くなる傾向がみられた。また、総合成績が、学内試験の成績と比べ、相関係数が高いことから、複数の試験を合わせることで、相関係数が高まることが考えられた。

どの学内試験も国家試験と有意に高い相関関係が認められたこと、単位認定の判断は複数の試験を合わせた総合成績で評価していること、試験実施時期が国家試験に近づくにつれて、成績の配分を多くしていること、以上のことより、学内試験は客観的な評価として有用なことが示唆された。

どの程度の相関係数が必要なのかは不明であるが、先行研究の米国における115名での報告では、医学部1,2年の平均成績と国家試験 US-MLE Step1 と Step2 の成績の相関係数はそれぞれ0.87と0.81と非常に高く、医学部3,4年の実習を主とした平均成績でも国家試験との相関係数がそれぞれ0.66と0.68であった。また、宮下らの報告では、医師国家試験と総合試験、業者模試の相関係数は、それぞれ0.63, 0.68であった。

これらの先行研究と一概に比較することはできないが、本研究で得られた相関係数は、先行研究と比べ、高いものであった。もっとも、これらの結果は単年度の少人数の成績に基づくものであり、さらに継続して検討していく必要がある。

【文献】

- 1) 財団法人柔道整復研修試験財団編集：平成22年版柔道整復師国家試験出題基準。医歯薬出版。東京、2009。
- 2) Edelstein RA, Reid HM, Usatine RU, et al: A comparative study of measures to evaluate medical students' performances. Acad Med 2000, 75:825-833
- 3) 宮下次廣, 志村俊郎, 足立好司, 荒牧琢己, 清水一雄, 檀 和夫：医学部在学中の試験と医師国家試験の成績比較。医学教育 35(4), 281-285, 2004-08-25